

◆ (速報値)令和2年度ごみ減量・資源化の状況について

令和2年度のごみ量は、平成23年度比で12.4%減少し、一般廃棄物処理基本計画で掲げる目標(10年で10%減、計画期間8年目の令和2年度は8%減)を上回る結果となっている。持込ごみ(事業系)は、前年度の22.6%減に対し、令和2年度は34.8%減となった。引続き平成28年度の手数料改定の効果があると思われるが、令和2年度については新型コロナウイルスの蔓延により、事業活動の縮減があり特に可燃ごみが減ったことが影響している。今後は事業活動の再開でごみ量の増加が見込まれるため、引続きしっかりと清掃工場での搬入物検査や排出事業所への訪問指導などに取り組む。

収集ごみ(家庭系)については令和元年度の6.1%減から、令和2年度は3.2%減となった。在宅勤務や生活スタイルの変化により、自宅で過ごす時間が多くなり飲食の持帰り容器や自宅内の整理整頓からの廃棄物が多くなったと考えられる。

資源化率については、前年度33.8%に対し、令和2年度は35.0%となり1.2ポイント上がった。この結果を維持し更なる資源化率向上のため、資源化啓発や事業所への指導などに取り組む。清掃工場において不燃残渣(埋め立てごみ)から金属等を再度取り出しエコセメントの原料として全量を資源化することにより、埋立量は、平成27年度より0tとなり、令和元年度に引き続き令和2年度も0tとなっている。

○ 多摩市一般廃棄物処理基本計画(計画期間:平成25~34年度)における ごみ減量目標

- ① 排出量(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害性ごみ)を10%削減(家庭系・事業系とも平成25年度から毎年1%ずつの着実な減量が必要)
- ② 資源化率40%以上を目指す
- ③ 焼却残渣を資源化し、埋立量をゼロに近づける

① 排出量の推移

区分	種類	23年度(基準年)		元年度			2年度			令和4年度(平成34年度)目標値		
		量(t)	1人1日(g)	量(t)	1人1日(g)	減量率*1	量(t)	1人1日(g)	減量率*1	量(t)	1人1日(g)	減量率*1
収集ごみ(家庭系)	可燃ごみ	22,182	413.3	21,837	400.8	▲ 3.0	22,284	410.8	▲ 0.6	19,946	372.0	▲ 10.0
	不燃ごみ	1,698	31.7	886	16.3	▲ 48.6	918	16.9	▲ 46.7	1,527	28.5	▲ 10.2
	粗大ごみ	852	15.9	863	15.8	▲ 0.2	1,012	18.7	17.6	766	14.3	▲ 10.2
	有害性ごみ	60	1.1	53	1.0	▲ 13.0	54	1.0	▲ 9.1	54	1.0	▲ 8.4
	小計(ごみ)	24,792	462.0	23,639	433.9	▲ 6.1	24,268	447.4	▲ 3.2	22,293	415.7	▲ 10.0
	資源	6,728	125.4	6,288	115.4	▲ 7.9	6,810	125.6	0.2	7,978	148.8	18.6
持込ごみ(事業系)	合計(ごみ・資源)	31,520	587.4	29,927	549.3	▲ 6.5	31,078	573.0	▲ 2.5	30,271	564.5	▲ 3.9
	可燃ごみ	9,984	186.0	7,577	139.1	▲ 25.2	6,270	115.6	▲ 37.8	8,977	167.4	▲ 10.0
	不燃ごみ	7	0.1	6	0.1	▲ 15.6	4	0.1	0.0	6	0.1	11.9
	粗大ごみ	320	6.0	516	9.5	58.8	521	9.6	60.0	288	5.4	▲ 10.5
	有害性ごみ	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	小計(ごみ)	10,311	192.1	8,099	148.6	▲ 22.6	6,795	125.3	▲ 34.8	9,271	172.9	▲ 10.0
資源	80	1.5	159	2.9	95.8	195	3.6	140.0	600	11.2	646.0	
合計(ごみ・資源)	10,391	193.6	8,258	151.5	▲ 21.7	6,990	128.9	▲ 33.4	9,871	184.1	▲ 4.9	
ごみ量	35,103	654.1	31,738	582.5	▲ 10.9	31,063	572.7	▲ 12.4	31,564	588.6	▲ 10.0	
資源	6,808	126.9	6,447	118.3	▲ 6.7	7,005	129.2	1.8	8,578	160.0	26.1	
総ごみ量	41,911	781.0	38,185	700.8	▲ 10.3	38,068	701.9	▲ 10.1	40,142	748.6	▲ 4.2	

※総量端数切り上げ

※総量端数切り上げ

基準人口(人) (各年10月1日)	146,637
----------------------	---------

148,865

148,606

146,906

② 資源化率の推移

資源化率(%) *2	35.4
------------	------

33.8

35.0

40.0

③ 埋立量の推移

埋立量(t)	85
--------	----

0

0

0

*1 減量率とは平成23年度(基準年)に対する各年度の1人1日あたり排出量の増減率をいう。

*2 資源化率=(資源量+資源集団回収量+清掃工場における資源回収量)/(総ごみ量+資源集団回収量)